

CASBEE® 新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1. 建物概要

建物名称	特別養護老人ホームあしめま荘新築工事	
建設地	新潟県新潟市東区岡山1182-1,2,3,4、1183-1,3、1184-1、1185-1	
用途地域	市街化調整区域	
建物用途	病院,	
竣工年	2024年1月 竣工	
敷地面積	7,802.55 m ²	
建築面積	2,786.09 m ²	
延床面積	7,426.51 m ²	
階数	地上3F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2022年8月4日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{53.2}{39.4} = 1.3$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.2		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 3.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.9		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.5		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 4.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.7		節水	LR2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 5.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全と創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	3.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE® 新潟

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新業)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	特別養護老人ホームあしぬま荘新築工事	階数	地上3F
建設地	新潟県新潟市東区岡山1182-1,2,3,4、1183-1,3、1184-1、1185-1	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	212 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年1月 竣工	評価の実施日	2022年8月4日
敷地面積	7,803 m ²	作成者	川辺 直哉
建築面積	2,786 m ²	確認日	2022年8月25日
延床面積	7,427 m ²	確認者	川辺 直哉



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.1**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p>Q3のスコア = 2.8</p>

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.4**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 3.5</p>	<p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>緑豊かな環境の中で、利用者が主体的に生きがいをもって、生活を作り上げることを目指していく建物である。耐用年数は長く、室内では快適に過ごすことができるよう、様々な取組みを行っている。</p>		特になし
<p>Q1 室内環境</p> <p>ハイサイドライトの設置や昼光率を高くすることで十分な最高が確保できるような設計としている。また自然換気有効開口も大きく、自然環境を利用することで、省エネルギーの向上を実現している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐用年数の長い仕上げ材や配管を使用して、建物の長寿化を図っている。また、天井高を高く取ることにより、利用者にとって広く感じる空間を作り快適性が得られている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺の建物と調和する高さとなっており、圧迫感を感じさせないよう努めている。また、植栽により良好な景観を形成している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明により、設備システムの高効率化を図っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水機器やリサイクル材(躯体材料以外)を活用して、環境に配慮している。部材を再利用できるようにOAフロアやPB+LGSを採用し、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。また、ノンフロン断熱材を使用しており、地球温暖化防止のための取組みを行っている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐輪場、利用者の駐車場、管理用の駐車場を確保しており、建物の運用時に交通負荷が発生しないよう取組みを行っている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される